



川崎市立 真福寺小学校

校長 鈴木 みどり
児童数 213名

住所 〒215-0014 川崎市麻生区白山 5-3-1

電話 044-988-4348

<学校の創立>

1982 (昭和57)年4月1日
(東柿生小・柿生小・南百合丘小より)
開校記念日は11月29日

<学区域>

王禅寺西5丁目
王禅寺西6丁目1、3番～最後
王禅寺西7丁目
王禅寺西8丁目1～23、25番1号
王禅寺東4丁目
28～30・36番1～36・41号・37番
白山5丁目 (アカシア)

校歌

S.57. 7. 15 制定

作詞 須田高志 作曲 佐藤二美子

1. 緑あふれる 高台に 元気な声がこだまする
真福寺の子は 若竹のように 今日もみんなで
きたえます くじけぬ心 じょうぶな体
2. 風さわやかな 校庭に 明るいあいさつ
ひびいてる 真福寺の子は 山百合のように
やさしく胸に 育てます ふれあう心 深い友情
3. 光みなぎる 教室に かしこいひとみ
かがやかし 真福寺の子は 太陽のように
希望にもえて 学びます
世界に通う 真理の道を
ああ われら真福寺 小学生

① (4年生) 真福寺の町をもっと住みよい町にしよう!

4年生は総合の学習で、6月から真福寺の町を住みよくするためにどんなことができるか考え、調査・実践してきました。保護者に直接インタビューをしたり、町内に出て調査をしたりする中で、普段使っている公園や通学路にゴミが多くあることや信号がなく危険な場所があることを知りました。そこで、自分たちに何ができるか話し合い、「白山公園チーム」「美山台公園チーム」「通学路チーム」に分かれ、清掃活動やポスター作りの計画を立てました。10月に各担当が実施計画を発表し、学級全体で清掃活動を行いました。

美山台公園の清掃では、ゴミ箱がないため自分のごみを捨てて帰る人がいることに気づきこれから遊びに行くときにはちゃんとゴミを持ち帰ろうと話し合う児童の姿が見られました。



学校からほうきとちり取りを持参して清掃活動したよ。



公園は秋になると落葉が多いね。

白山公園では、AGS47(白山南緑地管理運営協議会)の皆さんと一緒に清掃活動を行いました。最初に活動内容を教えていただく中で、公園がいつもきれいに清掃されていたり花壇の花がきれいになっていたりするのは、地域のボランティアさんのおかげであることを知りました。また、白山公園の入り口の階段などに安全を呼び掛けるポスターも掲示し地域みんなが住みよい町になるように一人一人が取り組みました。後期は住みよい町プロジェクト第2弾として地域に住む人に目を向け、「福祉」の視点から自分たちに何ができるか考え実践していきます。

地図を見せてもらいながら教えてもらったよ。地域の人が住みよい町にしてくれていたんだね。



どこに貼るとみんなに見てもらえるか考えたよ。



② (5年生) 稲作体験 (井上俊夫さんの田んぼ)

5年生は総合の学習で、元PTA会長の井上さんの田んぼをお借りして稲作体験を行いました。代かきや田植え、稲刈り、脱穀を行い、お米を育てる大変さとありがたさを感じました。また、今年度はバケツ稲にも挑戦し、井上さんから学んだことや総合の学習の中で探究したことを生かして米作りをしました。収穫したお米は、家庭科の学習において、自分たちで炊いて、美味しくいただきました。総合の学習の最後には、4年生に引き継いでいくという思いで、活動報告をし、お米の大切さについて伝えました。

体験すると難しさや大変さを知ったよ。



実際の稲を見せながら説明したよ。



③ (6年生) 未来へ向かって—自分探しの旅—

6年生の総合では、「なぜ人は働くのか」を探究課題として、明日からの自分の生き方について考えてきました。PTAの方や卒業生など様々な方から職業に対する思いや願い、考えなどをお話していただきました。自分たちの立てた仮説や自分自身との比較をしながら考えることで、将来の夢や生き方を見つめるきっかけとなりました。また、夢や目標の実現へと結び付けていくために自分なりの見通しをもつことへと繋がりました。明日からの生活や行動に生かすことができるよう、今後も学習を続けていきます。



好きな事が、仕事に繋がっている人もいるんだな。自分の好きな事や得意な事ってなんだろう。



先の見えない未来をつくるという言葉が心に残った。自分のやったことが、社会や世界に繋がるなんて何だかかっこいい。



川崎市立 栗木台小学校

校長 袴田 深雪
児童数 608名

住所 〒215-0033 川崎市麻生区栗木 5-15-1 電話 044-987-4633

〈学校の創立〉
柿生小学校黒川分校が独立する形で
1983(昭和58)年4月1日開校
(開校記念日11月2日)

〈学区域〉
栗木
栗木1～3丁目
栗木台1～5丁目
栗平1、2丁目

校歌 大場貴子 作詞、川崎祥悦 作曲

- 1, 川崎の北 黒川の
緑豊かな 多摩の丘
自然のうたに はぐくまれ
つよいからだで たくましく
ああ 栗木台 栗木台小学校
- 2, 歴史のあゆみ あたたかく
栗木の今日に つづいてる
仲良く友と 励みあい
あつい友情 いつまでも
ああ 栗木台 栗木台小学校
- 3, 上げば遠く 光る富士
希望にむねを ふくらませ
明日の世界を きづくためのぼそう
知恵を かぎりなく
ああ 栗木台 栗木台小学校

栗木台小学校は多摩丘陵を新しく開いた新興住宅地の中にあり、学区は市街化調整区域及び農業振興地域に指定された黒川地区に隣接している。黒川地区は今も谷戸地形を利用した農業が引き継がれ、里山的環境が残っている。この恵まれた環境を活用しようと、生活科や理科、社会科、総合的な学習の時間を中心に地域を学習材として様々な取り組みを行っている。



① たけのこ掘り

地域の方に黒川の竹林を開放していた
だき、5年生が毎年たけのこ掘りを行っ
ている。たけのこ掘りを通して、黒川の自然や里
山についての知識を深めたり、里山を大切にする
地域の方の思いを知ったりすることができた。



② 稲作体験



今年度もJAセレサ川崎の方の協力を得て、5年生が黒川の田んぼで稲作体験を行った。6月の田植えでは靴を脱ぎ、靴下で田んぼに入った。泥に足をとられながらも、大きく育つようにと思いを込めて、丁寧に苗を植えていた。

10月には稲刈りを体験した。「すごい育ってる。」と感動を口にし、目を輝かせていた。鎌を使って刈り取り、はさがけまで体験することができた。収穫したお米は、精米して家庭科の調理実習で炊飯し、塩おむすびにして味わった。米作りだけでなく、農業に携わる方々の大変さとありがたみを実感することができ、近くに里山があることのよさにも気付くことができた。

③ 黒川里山体験プロジェクト



総合的な学習で里山を守る活動を知るため、黒川野外活動センターの職員の方にお話を伺った。その後、課題別に分かれて、実生ポットづくり・しがらみ柵づくり・竹炭づくりの体験をさせていただいた。普段経験することのできない体験を通して、里山のよさをあらためて実感したり、地域の里山を守っていきたいという思いを強めたりすることができた。子どもたちは今、体験活動や総合的な学習の時間で学んだことを生かし、SDGsの達成に向けて、「自分たちにできる活動」を自ら考え、プロジェクトチームをつくって行動に移している。



川崎市立 千代ヶ丘小学校

校長 柴田 雅之
児童数 513名

住所 〒215-0005 川崎市麻生区千代ヶ丘 8-9-1 電話 954-1080

〈学校の創立〉

1984(昭和50)年4月1日

〈学区域〉

千代ヶ丘1~9丁目

細山

細山8丁目

万福寺4丁目13, 14, 21~23番

万福寺5丁目20番

校歌

大澤功一郎 作詞 西崎嘉太郎 作曲

1. 森のみどりにつつまれて
富士を仰ぐわが母校
こころ気高くすこやかに
学び育つわれらが誇り
いざ輝け千代ヶ丘
ああ千代ヶ丘小学校
2. 古き歴史にはぐくまれ
多摩に光る学び舎は
すがた明るくさわやかに
学び集うわれらが泉
いざ輝け千代ヶ丘
ああ千代ヶ丘小学校
3. 丘に勇気がみちあふれ
あすに伸びるわが友は
のぞみ楽しくおおらかに
学び励むわれらが力
いざ輝け千代ヶ丘
ああ千代ヶ丘小学校

『地域の梅の実を使って、特製千代梅ジュース作り！』

1年生では、地域の自然教材を大切にしながら実践的な生活科の学習を行っています。千代ヶ丘の地域に昔から暮らしている土方さん（本校元PTA会長）に協力してもらい、梅の実を用いた授業をしています。土方さんの畑で大切に育てている梅の木から梅の実を採取してもらい、自分たちでヘタを取り、氷砂糖を入れるなどして梅ジュースを作ります。千代ヶ丘に住む一員として地域の自然、良さをいかして生活していきたいという思いをもちながら学習に取り組んでいます。

1. たくさんの千代梅の実をゲット！

今年も、「梅の実採っていいよ！」というお話をいただき、校舎の反対側にある土方さんの畑に1年生みんなでレッツゴー！何とも言えない梅の甘い香りが漂う梅林。下に目をやると甘い香りを発する完熟梅が。木を見上げると青々としたきれいなまん丸の青梅。初めて梅の実を見る子も思わず感嘆の声を上げていました。良い梅の見分け方を教わり、いざ梅を収穫！高い所は先生に持ち上げてもらってゲットしました！大量の梅の実が収穫できました。土方さん、今年もありがとうございます。



2. おいしそうな梅の実を選んで、丁寧にヘタを取りました

つまようじを上手にを使って、一つ一つ丁寧にヘタを取りました。つやつや、つるつるして光っている青い梅。熟して甘い匂いのする黄色い梅。もっと深く芳醇な香りのする赤色の梅。いろいろな梅を眺めながら、「これはおいしくなりそうな梅だ」と子供たちが自ら選んでヘタ取りを進めました。



3. 梅ジュースの熟成を待つ

まずビンの中に梅を入れて、次に氷砂糖を入れて、さらに梅を入れて…、梅→氷砂糖→梅→氷砂糖…と何層にもなるように入れました。「おいしくなあれ」と思いを込めて、暗くて涼しい場所に約3ヶ月保管します。カビが生えないように時々ビンを振ったり回したりして混ぜます。「おいしくできるかな?」「うまいくかな?」ドキドキで待ちます。



4. いよいよジュース完成。お世話になった人たちと梅ジュースパーティ！

3ヶ月が経ちました。いよいよ、出来上がった梅ジュースとご対面です。ビンを開けると甘く酸っぱい何とも言えないいい香りが漂います。梅を採らせてくれた土方さん、毎日お世話してくれた6年生、校長先生、教頭先生、用務員さんなどなどを招待して梅ジュースパーティーをしました。とっても甘くて、ほんのりすっぱくて…。「特製千代梅ジュース最高!」「千代梅すごい!」と言って、みんなニコニコ笑顔で梅ジュースを味わいました。





川崎市立 片平小学校

校長 朝比奈 浩
児童数 600名

〈住所〉〒215-0023 川崎市麻生区片平5丁目28番1号 〈電話〉044-987-6367

〈学校の創立〉 1984(昭和59)年4月1日
〈学区区域〉 片平 片平1丁目1~3, 5~20番 片平5~8丁目
五力田 五力田1~3丁目 白鳥1~4丁目

〈校歌〉

校歌

作詞 森久保 安美
作曲 西崎 嘉太郎

一、緑のおかの 連なりは
仲よかつたを 組むすがた
わたくしたちも 輪になろう
先生の手の ぬくもりよ
友だちの目の かがやきよ
ああ 二度とない今日の日を
共にはげもう いぎいぎと
この片平の まなびやに

二、はるかに光る 富士のみね
高い理想を 呼ぶすがた
わたくしたちも 夢みよう
大きくなって ゆく道を
宇宙にひろがる あこがれを
ああ 新しい明日の日も
共にのびよう すくすくと
この片平の まなびやに

〈学校教育目標〉 風になろう わになろう かたひらの子

考えて実行する子
なかよく語り合い協力しあう
豊かな人間性をはぐくむ教育



40周年記念
キャラクター
「はなまる」

学び続ける子 **主体性**
やさしくたくましい子 **協働**

地域からの学び～貴重な宝「地域材」の有効活用～

【学び続ける子】【考えて実行する子】【やさしくたくましい子】という目指す子供像を掲げ、「主体性」と「協働」をキーワードに、教育活動をすすめています。日々の教室での学びや児童会活動や学校行事などを通して、子供達が主体的に学び、自分で考えて行動できる力を身に付けてほしいと考えています。また、仲間とのかかわりの中で多様性を認め合い、互いの良さを存分に生かし、苦手なことを補い合い、助けたり助けられたりできる協働の経験をたくさん積んでほしいと思います。

また、本校は「開かれた学校づくり」の具現化を目指して「地域の教育力」を重視しています。特に昨年度は、創立40周年記念の節目を迎えたことから、地域とつながることができました。昨年度作成した地域資料集「かたひら」を活用し、実際に地域に出向いて見学したりお話を聞いたりするなど積極的に取り組んでいます。また、ゲストティーチャーを招いたり体験授業を取り入れたりするなど、かけがえのない地域材を有効活用することで、今年度もさらに充実した教育課程を推進しています。



地域に出向いて



2年生は片平の地域のお店や施設を訪問・インタビューし、働く人々や場所の魅力を発見する活動に取り組んでいます。今年度は今まで訪問したことがない地域の3つのお店（パン屋さん・食堂・ケーキ屋さん）にご協力いただきました。お店の方との適切な挨拶を学びながら、地域に親しみ、自分と町との関わりに気づくことを目的としています。見つけた「すてき」をそれぞれまとめ、発表することができました。

ゲストティーチャーを招いて



<3年夏菟太鼓体験>
源頼朝が巻狩をしたという伝承を表した力強い巻狩太鼓を、夏菟山修廣寺で教わりました。



<4年福祉の学習>
地域の福祉施設の方に「ボッチャ」を体験させていただきました。



<4年片平囃子体験>
片平囃子連の皆さんから、お祭りなどで耳馴染みの伝統のお囃子を教わりました。

毎年恒例の秋の「地域公園清掃」



校元 PTA 会長の須賀さんと多摩生活環境事業所の方のお話の後、片平公園、葉積緑地、高尾根公園、白鳥神社(公園)へ出向いて、清掃・美化活動に取り組みました。また、今年も川崎市「花づくり・花かざり」プロジェクトに参加して、学校で育てたビオラを片平公園に移植したり、花の球根を植えたりしました。

地域とコラボして



<アートロジ片平 ～ご近所アート～>
片平川沿いの遊歩道のコンクリートのかべに、すてきな作品が展示されている6つのパネルがあります。ここは、外の美術館！いつでも、だれでも作品を鑑賞することができます。ここに本校の6年生の作品を展示していただいています。



川崎市立 金程小学校

校長 芦刈 竜哉
児童数 379名

住所 〒215-0006 川崎市麻生区金程 2-10-1 電話 044-966-5506

<学校創立>

1990(平成2)年4月1日

※学校運営協議会

(コミュニティ・スクール)指定

2008(平成20)年12月1日

<学区域>

金程1~4丁目

向原1~3丁目

校歌 作詞 新川 和江 作曲 柏木 俊夫

- 1 すこやかに育て 花咲け ゆたかにみのれ
風が みどりの 森のことばを運んでくるよ
われらの 金程 金程小学校
- 2 大空をめざせ はばたけ あらしの日にも
鳥は 未来の 夢をつばさで描いているよ
われらの 金程 金程小学校
- 3 たゆまずに学べ ときには ゆかいにあそべ
水も さらさら 池にそそいで歌っているよ
われらの 金程 金程小学校

「地域と共に子どもたちを育む学校」をめざして

～ 地域社会に開かれた教育課程の実現 ～

本校は、よりよい学校教育がよりよい社会を創るという理念のもと、教育目標やめざす子どもの姿を学校と家庭、地域が共有し、これからの社会を創る子ども達に求められる資質・能力を明確にして、地域社会と協働しながらその実現をめざす「社会に開かれた教育課程」を推進しています。

【学校教育目標】：『 自分のよさを伸ばし、共に支え合い、よりよい社会を創造する
“学び続ける子ども” の育成 』

【めざす子どもの姿】：**知** 「主体的に考える子」 **徳** 「共に支え合う子」
体 「自分から行動する子」 **地域愛** 「地域と共に育つ子ども」

I. 学校教育目標の実現をめざした各活動団体や外部講師との連携

A. 森もりクラブ

3年生「総合的な学習の時間」の環境学習では、向原の里特別緑地保全地区(くじらの森)を活用し、里山の保全活動をしている森もりクラブの方との交流を通して学習を展開しています。くじらの森に出向き、自分たちが見つけた森の魅力だけでなく、疑問に思ったことやもっと知りたいことを森もりクラブの方から教えてもらいながら、くじらの森の良さを2年生や保護者に向けて発表しました。今年は、森もりクラブさんのご厚意により、森の木のプレート作りを担わせていただいたことで、さらにくじらの森を身近に感じ地域の自然に愛着をもちました。



B. 麻生区特産「万福寺人参をつくろう」

2年生の生活科の時間の発展として取り組んでいる「万福寺人参をつくろう」では、コミュニティ委員のみなさまにご指導いただき、万福寺人参を育てています。子ども達は、種まきをして後、人参の葉っぱが大きくなっていくのを楽しみにして水やりをしました。12月には思った以上に長く伸びていた人参に歓声を上げながら必死で引き抜き、満足気な顔で収穫した人参を眺めていました。例年になく太く長い人参は「万福寺人参品評会」に出品し、「特別賞」をいただくことができました。地域特産の人参を育てることで地域への思いを広げていく活動になっています。



C. サツマイモを育てよう

1年生が生活科の一環として行っているサツマイモを栽培にも、コミュニティ委員の方のお力添えをいただいています。今年は暑さのためか芋の成長が芳しくなかったのですが、子どもたちは畑から出てくるサツマイモを嬉しそうに収穫していました。自分たちで育てたサツマイモは蒸かして食べました。自分で育てて収穫するという貴重な体験を、地域の方のご協力により実現できています。



Ⅱ. 学校教育目標の実現をめざした「多様な各活動団体」との連携

D. どんど焼き ～三町会(向原町会・金程富士見会・金程町会)協働の地域行事への参加～

本校では、「学校を地域社会の核」と考え、地域と連携・協働した教育活動の充実に努めています。

1月には伝統行事であるどんど焼きを本校の校庭で行います。どんど焼きの準備には、4年生から6年生までが参加し、大人用のやぐら、子供用のやぐらと2つのやぐらを作っています。山から竹を切り出し、一本ずつ人の手で運びます。子どもたちのやぐらは地域の方々から教えていただきながら、組み立てるまでの一連の工程を体験しています。地域の方と触れ合いながら、金程に伝わる伝統を引き継いでいます。

今年は、6年生が総合的な学習の時間を使って、どんど焼き本番を盛り上げる企画を考えました。町内会の方の思いを聞きながら、引き継がれてきた伝統行事の良さを大切にして、さらに多くの方にどんど焼きを知ってもらい楽しんでほしいという思いで進めました。みんなの願いを詰めたメッセージだるまをやぐらの前に飾ってもらいました。



E. 伝統文化の体験 ～越中五箇山こきりこ唄保存会との音楽体験～

4年生の「音楽」では、日本の民謡の特徴を感じ取って、表現する学習をしています。本校では、富山県の「越中五箇山こきりこ唄保存会」の協力による伝統文化の体験学習を行っています。こきりこの由来や保存会の方たちにとってのこきりこへの思いをうかがい、保存会の方と一緒にこきりこを鳴らしながら唄ったり、さらさらを鳴らしながら踊ったりしました。伝統文化を守る方々の思いに触れ、大切に受け継いでいく人々の思いを感じていました。



F. 稲作の体験学習 ～コミュニティ委員の協力による環境学習～

5年生は、社会科の稲作学習の発展として、コミュニティの学習協力委員の方の指導のもと、田おこしから収穫まで、年間を通して稲作体験学習を行っています。子ども達だけでは大変な水の管理や稲刈りもコミュニティ委員の方に見守っていただきました。脱穀では、千歯抜きを使ったり、かつて全国を席卷した「細王舎」の足踏脱穀機を使ったりして、充実した体験活動になっています。



G. うどん打ち体験 ～コミュニティ委員の協力による武蔵野うどん作り～

あおぞら級（特別支援学級）の「あおぞらうどんを作ろう」では、金程の地で昔からうどん打ちが盛んに行われてきた理由や地域の歴史と風土について地域協力者の方から話を聞いたり、うどんの打ち方を教えていただいたりしています。この活動を通して地域の方と関わりを深め、今後も大きな支えとなる地域との結びつきを強めていきたいと考えています。



E. 陶芸体験 ～陶芸家の先生や陶芸ボランティアの協力による陶芸体験～

10周年記念事業として建てられた陶芸小屋を使い、支援級（あおぞら級）の陶芸活動と6年生の卒業陶芸制作を行っています。陶芸家の先生の専門的な指導とボランティアの方々の支援により、自分の思いを形にする創造的な体験活動ができています。世界に一つだけのオリジナル作品を仕上げることのできる貴重な体験となっています。



金程小学校は、里山フォーラムの「自然と共に暮らし、歴史を紡いできた『私たちのふる里』」を再発見しながら、自然と人間の共生を考えていく」という思いを共有しています。様々な教育活動の中に活動の場としての地域の活用、コミュニティ委員を中心とした地域や団体の方々の教育支援を活かしています。

本校はコミュニティ・スクールとして、地域社会に開かれた教育活動が未来を創り出す子どもたちの生き方の基礎をつくるために、教職員と保護者、地域住民が“地域総がかりで子どもの成長を支え応援する”学校をめざしています。また、学校と家庭、地域との協働を通して生まれる絆を地域活性化の基盤としていける“学校を核とした地域づくりを推進していく”学校をめざしています。

これからも、子どもたちが地域に親しみをもち、“**自分の意思が社会を創る**”という思いを育て、“**持続可能な社会づくりをめざす市民性**”を培っていきたいと思います。



川崎市立 はるひ野小学校

校長 大曾根 実
児童数 678名

住所 〒215-0036 川崎市麻生区はるひ野4-8-1 電話 044-980-5211

〈学校の創立〉

川崎市立栗木台小学校から分離独立し
2008(平成20)年4月1日 開校

〈学区域〉

黒川 南黒川
はるひ野1~5丁目

校歌「輝くはるひ野」

作詞 校歌作成委員会

作曲 操 雅子

1 夢に満ちた この風は
新しい道 生み出すよ
三本の楠に見守られ
さあ 歩き出そう
出会えた奇跡を喜びに
夢がいっぱいのこの街で
九年を結ぶ絆
The Blue Sky
輝くはるひ野

2 希望に満ちた この風は
新しい世界 生み出すよ
黒川のひざしを感じながら
さあ 手を伸ばそう
永遠の夢を握りしめ
緑あふれるこの街で
九年で育つ絆
The Blue Sky
輝くはるひ野

テーマ 「地域の里山を生かした学習活動」

はるひ野小学校の学区は、はるひ野駅を中心とした新たに開発された住宅地と黒川地域の自然豊かな里山が混在しています。また、東京都町田市、多摩市との境は緑地帯があり、よこやまの道、よこみね緑地、黒川谷ツ公園など季節ごとに様々な自然の表情を見ることができます。その豊かな自然を生かして、本校では様々な教育活動を行っています。自然物や生き物探しのフィールドとして、自然体験の場として、また、そこで活動する人々とのふれあいなど、貴重な生きた教材となっています。子どもたちは教室では得られない実体験を通じ、自然の不思議さや季節の変化を肌で感じるとともに、自分たちの住む地域に対する愛着を育んでいます。今後も地域の貴重な自然を教材として活用し、子どもたちの学びを広げたり深めたりしていきたいと思えます。

【1年生】よこみね緑地で自然観察

生活科の学習で季節毎によこみね緑地を訪れ、自然観察を行いました。地域の方々の協力のもと、その時期の植物や生き物について説明を聞いたり、実際に捕まえた生き物を間近で見せてもらったりしました。子どもたちは植物や生き物に触れるたびに、喜びや驚きの声をあげながら楽しそうに活動に取り組みました。季節によって変わる自然の様子について、五感を使って学ぶことができました。

【3年生】地域の方とボランティア活動

総合「自然がいっぱい！はるひ野・黒川」では、はるひ野の町の良いところを探すために地域を調べました。黒川谷ツ公園はどのような場所かを里山学校のみなさんから聞いたり、よこみね緑地を守る活動をしている地域の方に話を聞いたり、学校前の歩道橋への花植えを「まちの緑を守る会」の方と一緒にしたりと、地域にある公園や自然の魅力について詳しく知る機会となりました。

【4年生】谷ツ公園で理科の観察学習

植物や生き物の変化を調べるために年間4回の見学を行いました。季節ごとに観察することで植物や生き物の様子の変化などを実感することができ、多くの発見や気づきが生まれました。「谷ツ公園にはどれぐらい生き物がいるのか？」「季節ごとにどのような特徴があるのか？」など、疑問に思ったことを里山学校のみなさんに質問しながら、興味をもって学習することができました。





川崎市立 王禅寺中央小学校

校長 小堤 紀子
児童数 493名

住所 〒215-0018 川崎市麻生区王禅寺東 4-14-1 電話 044-988-9700

〈学校の創立〉

王禅寺小学校と白山小学校を統合し、
王禅寺中央小学校として
2009(平成21)年5月1日創立

〈学区域〉

王禅寺568～929, 182～1338, 1754～1767番
王禅寺東1丁目17番1, 5号, 18番1号,
19番10, 12号, 20～34番
王禅寺東2丁目13番18～27号, 15～49番
王禅寺東3丁目
王禅寺東4丁目2～27, 31～35, 36番37号
王禅寺東5丁目1～46,
47番10～20号, 52番12号
下麻生2丁目12～14番
下麻生978, 1135～1136番
白山1丁目(さつき) 白山2丁目(樺)
白山3丁目(楠) 白山4丁目(ポプラ)
白山4丁目(楓) 白山4丁目(他)

校歌 「友と通う道」

- み
どりの大地に さわやかな風が
ぼくらの夢をのせて そっと つつみささやく
手と手をつないで なかまが集えば
新しい力が 今 わいてくる
友と語りながら 通う道 うれしいな
たとえ つらいときも ずっと いっしょ
明日に向かい 翼を広げ大きく
ぼくらの夢 とどけ 宇宙へ
- 青空にうかぶ 真っ白な雲が
ぼくらの希望をのせて そっと 空をめぐるよ
心はずんで ほほえみ合えば
新しい力が 今 うごきだす
友と語りながら 通う道 うれしいな
たとえ かなしいときも ずっと いっしょ
未来に向かい 翼を広げ大きく
ぼくらの希望 とどけ 宇宙へ
ああ 王禅寺中央小学校

子どもたちを育む里山の自然

☆「王禅寺ふるさと公園」とのかかわり☆

本校の学区の近くには、里山の自然を生かした「王禅寺ふるさと公園」があります。春には「玉縄桜」が咲き、夏には小川のせせらぎ、秋には遊歩道の紅葉や、冬の澄み渡る空には、望遠広場から富士山を楽しむことができます。

子どもたちは四季の自然を味わえる公園で、元気に活動しています。特別支援級の遠足では、芝生の広場で竹とんぼをとばしたり、生活科の秋さがしの単元では、ふるさと公園で拾った自然物を使って遊びや飾りづくりを楽しんでいます。3年生の総合な学習の時間では、ふるさと公園の魅力を調べ、公園を支えている人々とかかわり、ふるさと公園を大切に守ろうという思いをもつことができます。

里山の自然に育まれながら、子どもたちの心と体は大きく成長しています。



夏



秋

地域の名人と子どもたち

☆地域の野菜名人 高桑さんとのかかわり☆

本校は閑静な住宅街に位置しながらも、地域には特別緑地保全地区や田畑があります。2年生の生活科「ぐんぐんそだて わたしのやさい」、3年生の社会科「農家の仕事」では、地域の農家、高桑さんをお招きし、野菜の育て方や農業に携わる思いについてお話をうかがっています。

子どもたちは、それぞれの野菜に合った育て方や工夫があることを学び、野菜に親しみをもって大切に育てる姿が見られました。また、農家の仕事は生活とかかわっていることや、農家の工夫や苦労についても知ることができました。



☆地域のお米名人 井上さんとのかかわり☆

本校には、稲の成育に欠かせない天気、「晴」と「水」から「王中晴水田」と名付けられた田んぼがあります。

5年生が総合的な学習の時間に、地域の農家、井上さんをお招きし、田起こしから田植え、稲刈り、脱穀に至るまで一貫して教えていただいています。秋には黄金の稲穂が実り、見事に収穫できました。

学習のまとめには「収穫祭」を計画し、自分たちで育てた王中小米を調理して皆で美味しくいただきました。

本校では、里山の自然と地域の“名人”のみなさんにご協力をいただきながら学習を展開しています。ありがとうございます。



王禅寺中央小学校のマスコット
ぜんじくん





川崎市立 麻生小学校

校長 末武由布子
児童数 681名

住所 〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 3-24-1 電話 044-954-0397

〈学校の創立〉

1991(平成3)年4月1日

〈学区域〉

王禅寺西6丁目2番

上麻生1、3丁目

上麻生4丁目1～51番

古沢

万福寺1丁目

万福寺2丁目1～3、22番

万福寺3丁目1～11番

万福寺4丁目4～12、15～20番

万福寺5丁目1～18番

万福寺6丁目

校歌

小川 信夫 作詞、佐藤 敏直 作曲

- 1、ひびくメロディ こぼれる笑顔
歌のある町 花の町
おはよう みんなで 口笛ふいて
集う広場に 愛の鐘
心はひとつ 麻生の子
つくろう みどりの ふるさとを
- 2、燃える太陽 ひかりの大地
風は踊るよ 丘の上
今日も 明るく 励ましあって
飛ぶよ 若鳥 雲のみね
やさしく 強い 麻生の子
のばそう 豊かな このいのち
- 3、仰ぐ 夕焼け あかねの空に
遙か またたく ひとつ星
さよならあした 手をとりあって
さがす 幸せ 青い鳥
未来に 翔る 麻生の子
ひらこう世界に このねがい

《1年生》—生活科—

麻生中学校近くにある「のびのびファーム」にサツマイモを植え、収穫を楽しみました。畑の管理は主に地域の方にご協力いただいています。また幼保小連携事業の一環として、地域の保育園、幼稚園の園児を招いて「秋まつり」を行いました。その準備のため、地域の公園に出かけ、秋の自然とかわりながらどんぐりや色とりどりの落ち葉をい、おもちゃや飾りを作る活動も楽しめました。園のかわいいお友達にもたくさん遊んでもらえて満足気な様子でした。



《2年生》—生活科—

1年生と同様に「のびのびファーム」で大根を植え、収穫を楽しみました。小さい種からこんなに大きな大根が育つことに驚きながら、力いっぱい大根をぬいていました。帰り道には「重い重い」と言いながらも大根を大事そうに両手で抱え、「どうやって食べようかなあ」「お母さんに大根サラダを作ってもらおう」と笑顔で話し、食べるのが待ちきれない様子が見られました。



《3年生》—社会科—

社会科の学習で、地域で生産される野菜を育てる農家の方を訪ねました。代々受け継がれている農地には、万福寺ニンジンや里芋、大根などの葉が青々と生い茂っていました。

子どもたちは事前に考えてきた質問をして、農業を営む方々のやりがいや生産の工程と工夫などを学ぶことができました。実際に見て聞いて匂いをかぐなど、五感を使って体験的に学ぶことができました。地域にこのような里山があり、その場所を大切に守りながら、農業を営む方々と出会えたことは子どもたちにとって貴重な体験となりました。



《4年生》-理科-

今年、理科の授業でひょうたんを校内で栽培することにしました。ところが、夏の猛暑などの影響を受け、残念ながらうまく育ちませんでした。困っていたところに、地域の方が栽培しているひょうたんの実を見せていただく機会が得られました。

早速見学に行きました。子どもによっては初めて見るひょうたん。触ったり中身を観察したりすることができました。その実の硬さに驚いたり、中身の種の配列の様子に興味をもったりする子がいました。「百聞は一見にしかず」の経験ができました。



《5年生》-総合的な学習の時間(食育・環境教育)-

毎年、春から秋にかけ、「米づくり大作戦！」に取り組んでいます。敷地内に水田を作り、今年も、田起こしから稲刈り、脱穀作業(昔ながらの足踏みの脱穀機を使用)などの稲を育てお米にするまでのこつを、地域の方をお招きして詳しく教えていただきながら、おいしいお米を収穫することができました。米の銘柄は神奈川県奨励品種「はるみ」といいます。今年も、夏の猛暑や水の管理に悩まされながら、子どもたちが役割を決めたり、手作りの案山子を立てたりしながらおいしいお米の収穫に向け一人一人が努力を続けました。結果、今年も5キロを超えるお米が収穫できました。



後日、家庭科の学習とつなげて収穫したお米を使って炊飯の仕方を学びました。その際にお世話になった地域の方をお呼びし、甘くておいしい新米と一緒に食べる機会をもちました。米づくりの大変さと共に収穫の喜びも味わうことができました。

さらに、地域の方から稲わらを使った縄ないの方法を伝授していただきました。縄をなうのは大変難しく悪戦苦闘していましたが、昔の人々の知恵や習慣に関心を寄せながら、貴重な経験をすることができました。



《6年生》-勤労生産奉仕活動-

麻生小学校では、年間3回クリーン作戦(清掃活動)をしています。各学年の栽培園や敷地内、そして、通学路や近隣の公園のごみ拾いを各学年が分担して行っています。6年生は、花壇の草むしりや校内の清掃を主に担当して、協力して清掃活動に励んでいます。

敷地内は、いつも用務員さんがいつもきれいに掃除をしてくださっているため、拾うごみがないくらいなのですが、実は通学路や公園の清掃に行った学年からも同じような声が聞かれていました。麻生小学校の周辺地域が、これからもきれいな町であり続けるために子どもたちの美意識を今後もしっかりと育てていきたいと感じました。



**“2026 里山フォーラム in 麻生（第25回）”
資料集 25**

2026年3月7日

**里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課
令和7年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業**